

🌸うべけん女子サークル活動記録🌸

vol.2 角島灯台及び関連施設群

第2回の活動として、下関市豊北町にある「角島灯台」を訪れました。

山口県の人気観光スポットといえば「角島大橋」を思い浮かべる人が多いのではないのでしょうか？CM やドラマのロケ地となったこともあり週末は多くの観光客でにぎわっています。

角島大橋を渡った先には、[土木学会推奨土木遺産](#)に指定されている「角島灯台」があります。角島灯台は角島の北西端に位置し、日本海側で初めて造られた洋式灯台です。英国人技術者 R.H.ブラトンの指導監督のもと[明治9年](#)に初点灯しました。総高は29.6m で、建設時は[日本で最も高い石造灯台](#)でした。高度な石造技術が集結した意匠的にも優れた建築物で、明治前期における石造灯台建設技術の到達点を示すものとされています。

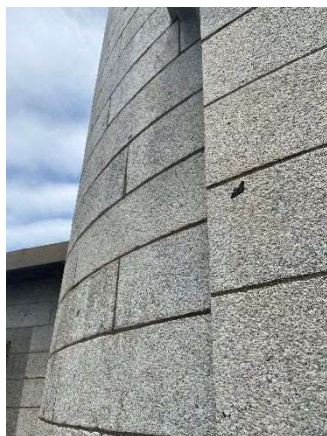


※国土地理院の地理院地図（電子国土 Web）の一部を掲載

角島灯台は、日本の沿岸貿易を重視した政府が地理的に重要な場所として建設したそうです。明治時代に造られたとは思えないほどきれいな外装で、一度は訪れたい土木遺産のひとつです。

石造りの灯台は全て切り石を積んでつくり、その素材の大部分は、良質の花崗岩を用いています。この花崗岩は徳山沖の大津島から運ばれたと推定されています。

vol.1 で紹介した火ノ山砲台でも構造上重要な箇所に花崗岩が使われていました。兵舎や弾薬庫、灯台にも使用され花崗岩がどれだけ耐久性が高いかが分かります。



角島灯台外装



使用石材（徳山産花崗岩）

現在の灯台のレンズは、大きさによって第1等から第6等まであります。第1等レンズは焦点距離920mm、高さが2590mmにもなるとても大きなレンズで、日本には角島灯台を含む5基の第1等灯台が残っています。



レンズ部分



また、灯台記念館が併設されており、灯台建設に関わる様々な資料が展示されています。



灯台が出来るまで



学習中…

立寄り Spot 紹介 ～角島自然館～

角島には灯台の他にも私達建設コンサルタントと関係する土木施設がたくさんあります。その1つである「角島大橋」の建設時の資料を「角島自然館」で見ることが出来ます。

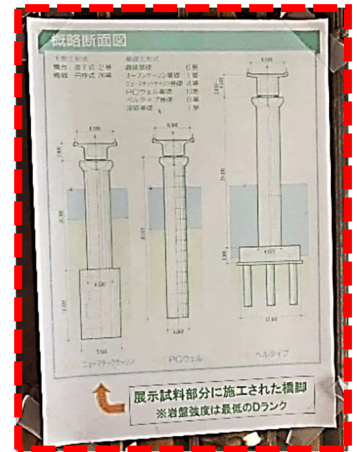
角島大橋に用いられている基礎形式は3タイプあり、ボーリングコアの岩級区分（風化の進行度）によって、橋梁の基礎形式を使い分けてあるそうです（最右図）。



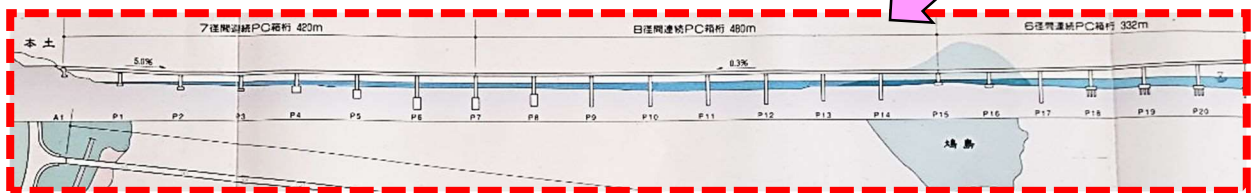
角島大橋の基礎地盤の
ボーリングコア



柱状図及び採取試料



橋梁の基礎形式



また、角島自然館には、角島大橋の下で座礁しているところを発見された新種のクジラ「和名：ツノシマクジラ」の骨格標本や渡り鳥の標本など角島特有の動植物の展示が多数あります。一度訪れてみてはいかがでしょうか？



角島自然館全景



バードウォッチングスペース

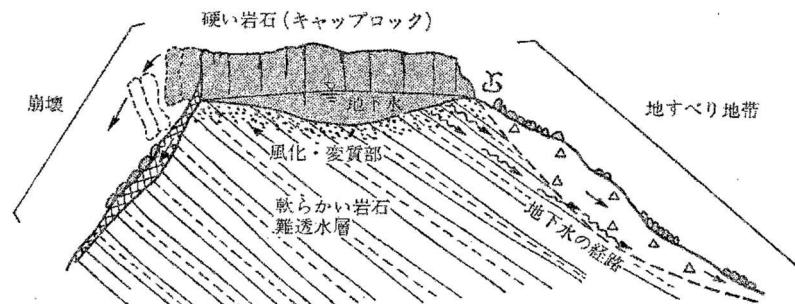


ツノシマクジラ骨格標本（レプリカ）

建設コンサルタントの足跡 ～地すべり対策施設～

角島は、地すべり地帯が広く分布しています。これには、角島の地質構造が深く関係しています。

角島は、およそ 1600～1500 万年前油谷湾層群という砂、粘土が固まって出来た地層で形成されました。その後、まだ砂と粘土の固結度が低い状態で火山が噴火し、比重の大きい玄武岩溶岩が島の頂上に被さりました（キャップロック）。そのため砂、粘土層の変形が進み、地すべりを繰り返してきたと言われています。



キャップロック型地すべりの発生機構の模式図

ちなみに、玄武岩は**柱状節理**がよく発生する岩石（溶岩）です。柱状節理とは、溶岩が急速に冷え固まって規則正しい柱のような割れ目のことです。皆さんは実物を見たことがありますか？ **この割れ目を通して雨水が地下に浸透し、地すべりを誘発するのです。**



東尋坊の柱状節理(福井県坂井市観光ガイドより)

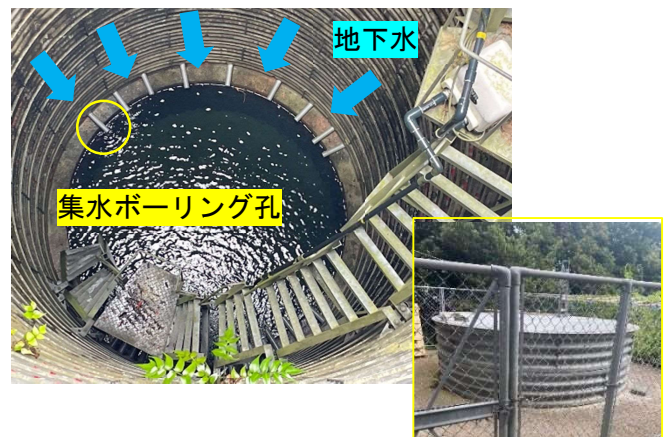


玄武洞の柱状節理(豊岡市観光公式サイトより)

また、角島は地すべりが発生しやすい地形であるため、対策が必要になります。

先ほど**地下水が地すべりを誘発する**と書きましたが、この写真の「集水井」という施設は、地下水を抜いて地すべりの原因となる地下水位を低下させるものです。

写真は対策の一部にすぎませんがとても重要な役割を担っています。



角島の新名所？ ～Granvista 角島～

お昼は、角島灯台からすぐ近くの Granvista 角島に行きました！
「Granvista 角島」は下関名物の瓦そばや、たくさんのネタがのった海鮮丼などを食べることができます。海に隣接しているので、きれいな海を眺めながら食べることができます！



Granvista 角島（外観）



まぐろづくし丼

そして、帰りにはボウリングに行きました！ボーリング(掘削)ではなくボウリング(球技)です！一文字違うだけで全く違う意味になるので要注意です★



まとめ

角島といえば橋のイメージが強いですが、明治時代に建設された歴史的な構造物があることが分かりました。日本で登れる灯台は 16 基しかありません。なかでも珍しい石造灯台はとても魅力的です！そのほかに、自然や食も楽しめます！

橋を渡って U ターンせず、その先の土木遺産に触れてみませんか？

みなさんもぜひ訪れてみてください！

